

就実短期大学潜在保育士アンケート結果報告

1. アンケート調査の概要は以下のとおりである。

1) アンケートの構成

アンケートは、以下のような内容で構成されている。(詳細は、アンケート調査表原本を参照)

- A 調査協力者の属性
- B 保育士・幼稚園教諭現職者に対する質問
- C 保育士・幼稚園教諭経験者(現在未就労)に対する質問
- D 保育士・幼稚園教諭として就労経験がない方への質問
- E 保育士復職研修会
- F 研修内容(身に着きたいスキル)

2) アンケートの配布について

(1) 対象者

就実短期大学幼児教育学科卒業生 4955 名

(2) 時期

2014 年 8 月末郵送し、9 月 30 日までに返送を依頼

(3) 郵送物について

アンケート票、復職研修への案内、アンケート返信用封筒、復職研修参加申し込み用封筒を同封した。

(4) 回収率

述べ 1201 通の返信があった(回収率 24.2%)

3) アンケートの集計および概要報告

(1) アンケートの集計

各項目の集計値については、付表に示す

(2) アンケートの概要

A 調査協力者の属性

A-1 調査協力者の属性

調査協力者は、すべて女性であり(1200 名、無回答 1 名)、全体の 81%(983 名)が岡山県に在住である。全体の 77.3%が既婚者であり、75.7%(902 名)に子どもがいる。調査協力者の年齢の内訳は以下の表のとおりである。40代、50代の回答が全体の 53.3%を占めている。

調査協力者の年齢

年齢	人数	%
20代	183	(15.2)
30代	238	(19.8)
40代	276	(23.0)
50代	364	(30.3)
60代以上	140	(11.7)

A-2 保育士登録について

調査協力者のうち、全体の70.0%(820名)が、保育士登録を行っていた。未登録者のうち、63.8%(198名)が、登録制度を知らなかったと答えている。

A-3 就労経験について

調査協力者1201名の就労経験については、以下の通りである。全体の43.1%(518名)が保育士もしくは、幼稚園教諭として就労している。また、全体の40.8%(490名)は、いったん専門就職を行ったものの現在は退職している状況である。

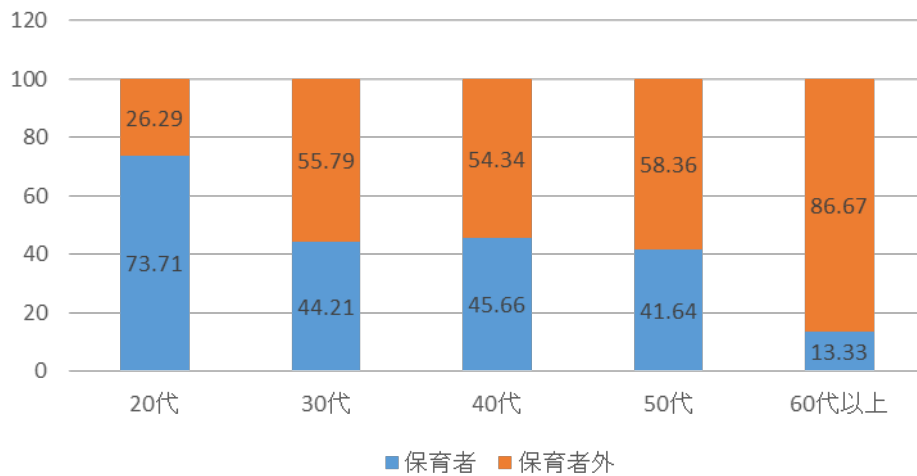
就労経験

	度数	パーセント
過去にあるが、現在は保育士・幼稚園教諭として就労していない	490	40.8
保育士として仕事に就いている	436	36.3
アルバイト等を含み、保育士・幼稚園教諭としての就労経験はない	153	12.7
幼稚園教諭として勤務している	82	6.8
合計	1161	96.7
システム欠損値	40	3.3
	1201	100

20代の調査協力者175名のうち、73.7%(129名)が現役であるが、30代では、就労率が44.2%(103名)に低下している。

年齢と就労経験のクロス表

			就労経験				合計
			保育士として仕事に就いている	幼稚園教諭として勤務している	過去にあるが、現在は保育士・幼稚園教諭として就労していない	アルバイト等を含み、保育士・幼稚園教諭としての就労経験はない	
年齢	60代以上	度数	10	8	104	13	135
	50代	度数	117	30	170	36	353
	40代	度数	101	20	73	71	265
	30代	度数	92	11	110	20	233
	20代	度数	116	13	33	13	175
合計		度数	436	82	490	153	1161



保育士・幼稚園教諭としての勤務状況

B 保育士・幼稚園教諭現職者に対する質問

2014年現在、保育士もしくは、幼稚園教諭として働いている調査協力者(518名)に対して以下の質問を行った。

B-1 調査協力者の属性

全体の35.3%(183名)が私立の認可保育所、33.0%(171名)が公立の認可保育所、9.5%が公立幼稚園、4.1%(21名)が私立の幼稚園で勤務している。勤務形態については、正規職員が全体の54.6%(283名)であった。

B-2 労働条件について

全体の81.5%(422名)は、現在の勤務時間が希望に添っていると答えていた。給与面については、全体の44%(228名)が勤務条件とくらべてやや安いと回答をした。その理由としては、勤務の大変さ責任にくらべ安いという回答が79.2%(244名)であった。

労働条件として一番の問題は何かという問いに対しては、仕事内容(30.7%,159名)、給与(30.1%,156名)、勤務時間(29%,150名)が全体の9割を占めた。全体の75.9%(393名)が、今後も現施設で就労したいと回答している。その理由として上位のものは、「通勤が便利」「職場の人間関係が良好」「保護者との関係が良好」「保育の理念、方針が自分の考えと一致している」などであった。一方で、転職を希望する73名が回答した理由としては、「仕事量が多い」「給料が安い」「勤務時間が長い」が上位となった。

B-3 やりがいについて

有効回答の97.2%(451名)が、やりがいをよく感じる(56.5%,262名)、時々感じる(40.7%,189名)と回答した。やりがいをを感じる瞬間としては、子どもの成長を感じられた時(92.6%,426名)、子どもが喜んだり満足を感じた様子を見せたとき(89.1%,410名)、子どもとの信頼関係が深まったとき(76.1%,350名)など子どもに関する事項が圧倒的多数を占めた。

C 保育士・幼稚園教諭経験者（現在未就労）に対する質問

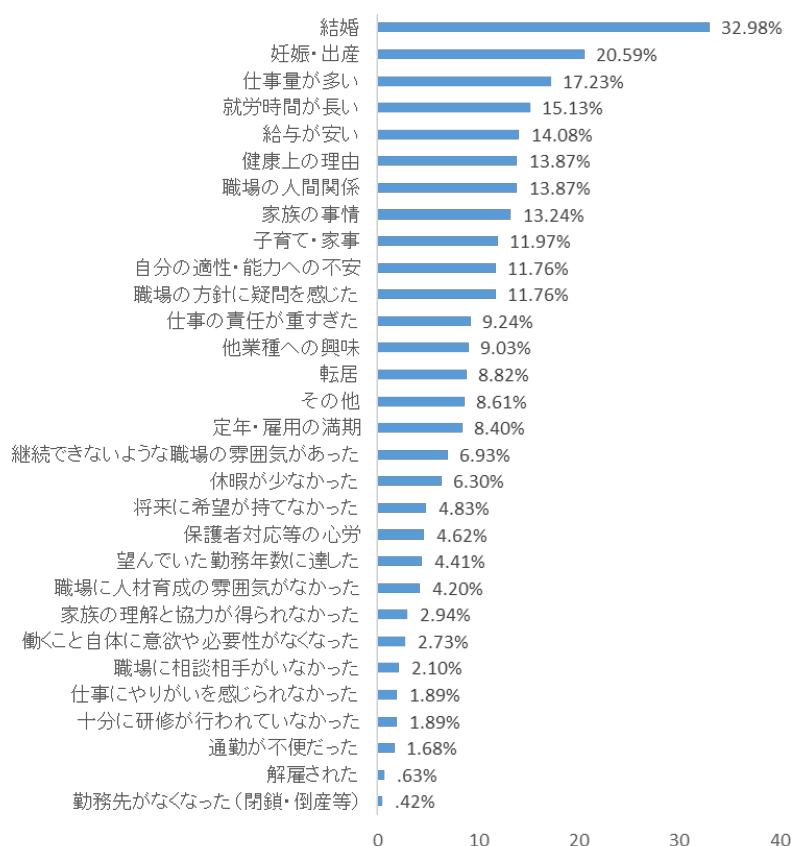
保育所・幼稚園に就労経験があるものの、現在は勤務していない調査協力者 476 名に対して以下の質問を行った。

C-1 調査協力者の属性

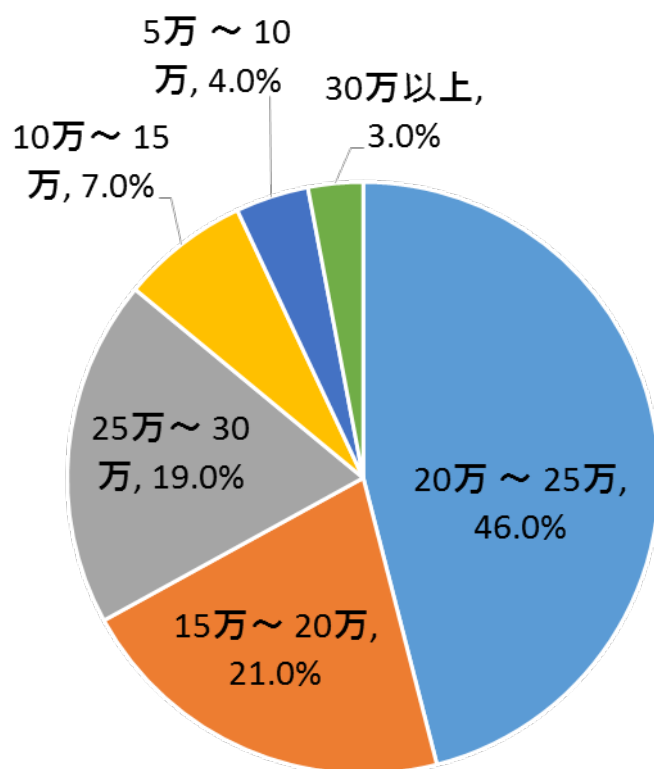
調査協力者のうち 79.6%(390 名)が、新卒で勤務していた。就職動機としては、保育職の専門性(49.2%, 241 名)および、子どもとの関わりの有無(36.3%, 178 名)が多かった。有効回答のうち、全体の 44.2%(210 名)が私立認可保育園であり、31.2%(148 名)が公立の認可保育所であった。28%(133 名)が公立の幼稚園であり、12.6%(60 名)が私立の幼稚園であった。

C-2 退職理由、在任中の悩み

退職した理由としては、結婚(33.0%,157 名)、妊娠・出産(20.6%,98 名)、仕事量が多い(17.2%,82 名)、勤務時間が長い(15.1%,72 名)、給与が安い(14.1%,67 名)、健康上の問題(13.9%,66 名)、職場の人間関係(13.9%,66 名)、家族の事情(13.2%,63 名)、子育て・家事(12.0%,57 名)、自分の適性・能力への不安(11.8%,56 名)、職場の方針に疑問を感じた(11.8%,56 名)などが多数あげられた。



退職理由

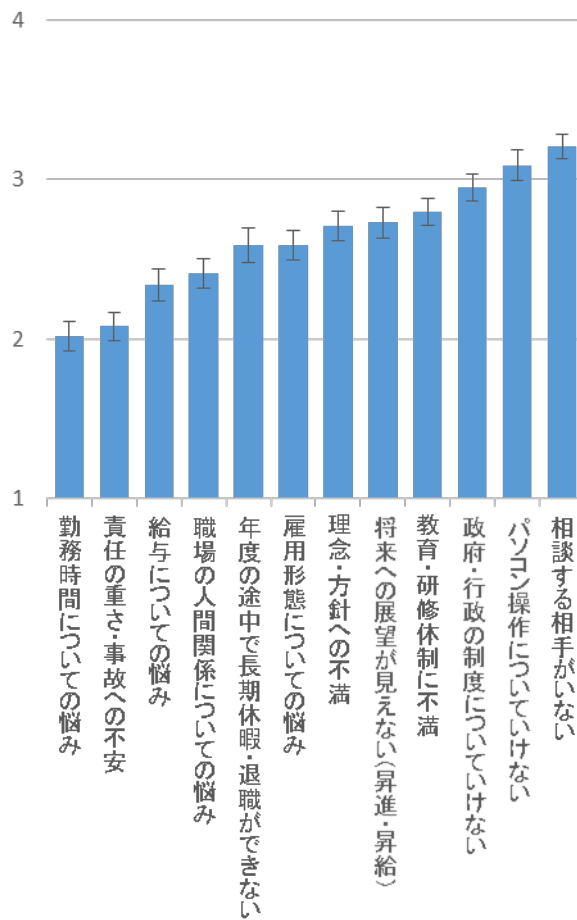


給料が安いから退職したと答えた人の希望額 (100名)

在任中の悩みとして上位にあげられたのは、「勤務時間の悩み」「責任の重さ・事故への不安」「給与についての悩み」などであった。

在任中の悩み

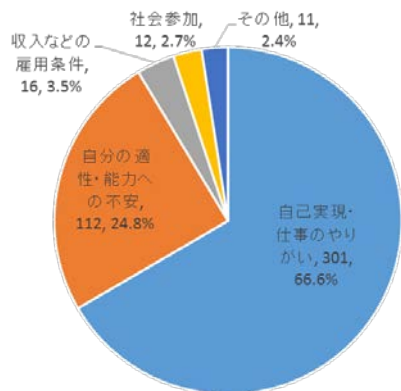
	度数 統計量	平均値		標準偏差 統計量
		統計量	標準誤差	
勤務時間についての悩み	402	2.02	0.05	(0.95)
責任の重さ・事故への不安	398	2.08	0.05	(0.93)
給与についての悩み	396	2.34	0.05	(1.00)
職場の人間関係についての悩み	395	2.41	0.05	(0.95)
年度の途中で長期休暇・退職ができない	391	2.59	0.05	(1.06)
雇用形態についての悩み	387	2.59	0.05	(0.95)
理念・方針への不満	391	2.71	0.05	(0.92)
将来への展望が見えない (昇進・昇給)	390	2.73	0.05	(0.99)
教育・研修体制に不満	394	2.80	0.04	(0.87)
政府・行政の制度についていけない	365	2.95	0.04	(0.84)
パソコン操作についていけない	383	3.09	0.05	(0.98)
相談する相手がない	390	3.21	0.04	(0.76)
有効なケースの数 (リストごと)	335			



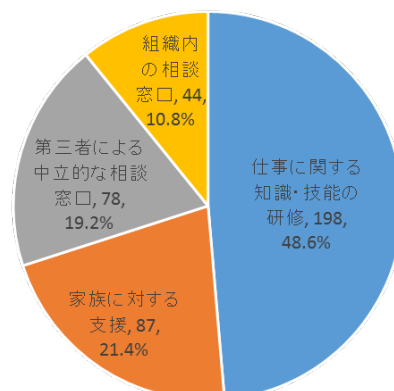
1とても当てまる 2やや当てはまる 3やや当てはまる 4全く当てはまらない

C-3 在任中に重視したこと

在任中に重視していたこととしては、有効回答数のうち、67%(301名)が、自己実現・仕事のやりがいと回答した。



在任中に重視したこと



保育士・幼稚園教諭に就労していた時に必要と思われた支援

D 保育士・幼稚園教諭として就労経験がない方への質問

保育士として就労経験のない調査協力者 153 名に対して、以下の質問を行った。

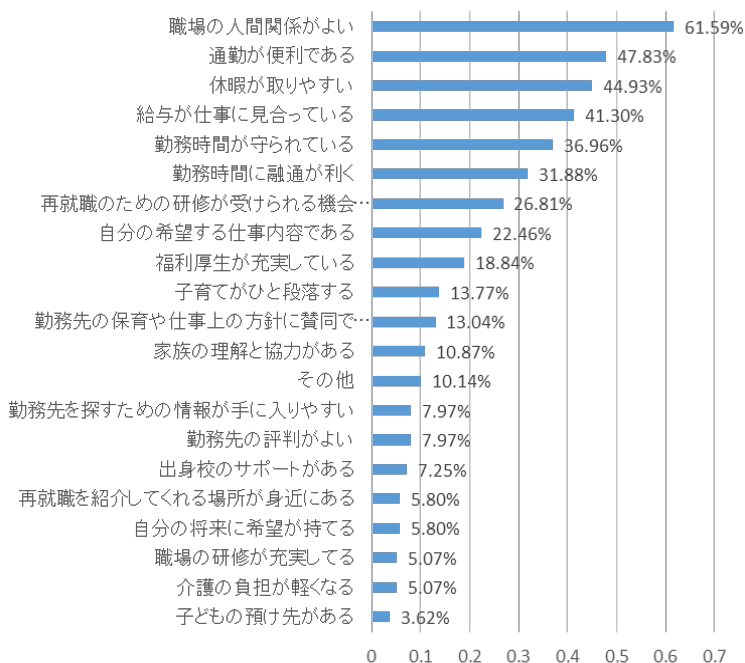
D-1 就労しなかった理由、今後の就労希望

保育士・幼稚園教諭として就労しなかった理由のうち、53.6%(82名)は、別の職業を希望したからと回答した。13.7%(21名)が、自分には適性がないと感じたからと回答した。

条件がそろえば保育士として就労したいかという質問については、全体の 13.8%(21名)が、はいと回答した。勤労のための条件としては、「職場の人間関係がよい

(61.6%,85名)」「通勤が便利である

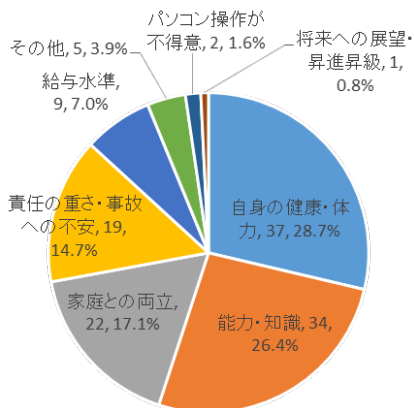
(47.8%,66名)」「休暇が取りやすい(44.9%,62名)」「給与が仕事に見合っている(41.3%57名)」「勤務時間が守られている(37.0%,51名)」といった回答が多かった。



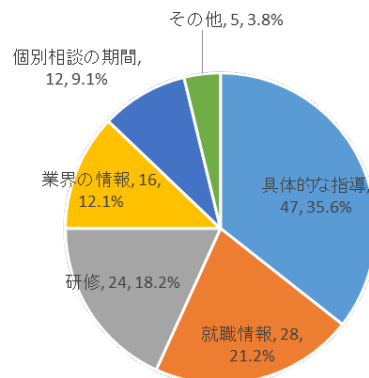
就労に関する条件

D-2 保育士・幼稚園教諭としての就労に対する不安

保育士・幼稚園教諭に伴う不安としては、自身の健康・体力(28.7%,37名)、能力・知識(26.4%,34名)、家庭との両立(17.1%,22名)、責任の重さ・事故への不安(14.7%,19名)などが多かった。全体の 35.6%(47名)が、就労に伴い具体的な指導を希望していた。



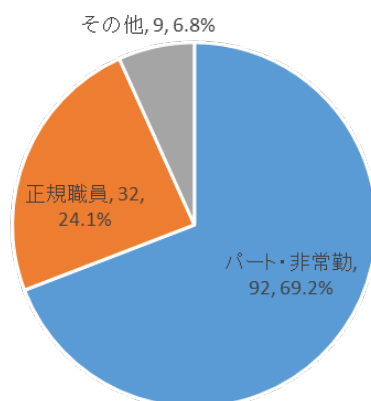
保育士・幼稚園教諭としての就労に対する不安



保育士として就労するために必要なサポート

D-3 希望する勤務条件

希望する勤務形態としては、パート・非常勤が全体の 69.2%(92 名)を占めていた。希望する勤務先としては、公立の認可保育園、事務所内保育施設、公立のこども園などが多かった。勤務地については、自宅近くが 47.1%(72 名)であり、居住市町村内が 29.4%(45 名)であり、全体の 8 割以上が自宅近辺での就職を希望している。



希望する勤務形態

E 保育士復職研修会について

E-1 研修会や情報交換会への参加意識について

保育士・幼稚園教諭の就労経験者については、全体の 24.7%(121 名)が参加すると答えた。保育者として未経験者については、全体の 32%(49 名)が参加すると回答した。

E-2 研修に対する希望

保育士・幼稚園教諭の就労経験者については、全体の 27.3%(134 名)が平日の日中が最も都合がよいと答えた。保育者として未経験者については、全体の 27.5%(31 名)が平日の日中が都合がよいと回答した。ついで、日曜祝日がよいという意見が多かった。

E-3 就労情報の受け取りの希望

就労情報の受け取りについては、最も希望が強かったのはハローワークであった。次いで、HP や求人広告があげられた。

どのような形での就職情報の受け取りが望ましいですか

就労経験		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント	
過去にある が、現在は保 育士・幼稚園 教諭として就 労していない		ハローワーク	80	16.3	28.1	28.1
		HP	56	11.4	19.6	47.7
		求人広告	42	8.6	14.7	62.5
		自治体の就職説明会	26	5.3	9.1	71.6
		卒業校への求人票	24	4.9	8.4	80.0
	有効	自治体窓口	24	4.9	8.4	88.4
		友人・知人の紹介	23	4.7	8.1	96.5
		人材派遣・紹介会社	6	1.2	2.1	98.6
		その他	4	.8	1.4	100.0
		合計	285	58.2	100.0	
		欠損値	システム欠損値	205	41.8	
	合計	490	100.0			
アルバイト等 を含み、保育 士・幼稚園教 諭としての就 労経験はない		ハローワーク	22	14.4	18.8	18.8
		HP	20	13.1	17.1	35.9
		自治体の就職説明会	19	12.4	16.2	52.1
		求人広告	16	10.5	13.7	65.8
		卒業校への求人票	12	7.8	10.3	76.1
	有効	友人・知人の紹介	12	7.8	10.3	86.3
		自治体窓口	9	5.9	7.7	94.0
		人材派遣・紹介会社	5	3.3	4.3	98.3
		その他	2	1.3	1.7	100.0
		合計	117	76.5	100.0	
		欠損値	システム欠損値	36	23.5	
	合計	153	100.0			

F 研修内容について（身に着けたいスキル）

研修内容について、要望が多かったのは以下の通りである。（詳しくは、次頁の表を参照）

F-1 障がい児保育 救命救急 発達心理 身体表現技能

F-2 近隣・対外対処法 パソコン操作

F-3 保護者対応（相談対応法） 連絡帳や書類の書き方 子どもとのコミュニケーション

就労経験別研修希望内容

	保育士として仕事に就いている		幼稚園教諭として勤務している		過去にあるが、現在は保育士・幼稚園教諭として就労していない		アルバイト等を含み、保育士・幼稚園教諭としての就労経験はない		合計
	選択数	選択率	選択数	選択率	選択数	選択率	選択数	選択率	
障がい児保育	236	(71.52%)	22	(38.6%)	166	(55.15%)	43	(36.13%)	467
発達心理	169	(51.21%)	11	(19.3%)	158	(52.49%)	57	(47.9%)	395
身体表現技能（手遊びを含む）	170	(51.52%)	21	(36.84%)	154	(51.16%)	58	(48.74%)	403
救命救急	138	(41.82%)	24	(42.11%)	149	(49.5%)	61	(51.26%)	372
乳児保育・小児保健	145	(43.94%)	8	(14.04%)	107	(35.55%)	50	(42.02%)	310
安全管理	114	(34.55%)	6	(10.53%)	118	(39.2%)	49	(41.18%)	287
保育所保育指針	112	(33.94%)	45	(78.95%)	107	(35.55%)	47	(39.5%)	311
音楽表現技能	91	(27.58%)	8	(14.04%)	120	(39.87%)	40	(33.61%)	259
造形表現技能	84	(25.45%)	17	(29.82%)	84	(27.91%)	27	(22.69%)	212
食育	70	(21.21%)	28	(49.12%)	66	(21.93%)	26	(21.85%)	190
言語表現技能	56	(16.97%)	21	(36.84%)	66	(21.93%)	20	(16.81%)	163
衛生管理	46	(13.94%)	11	(19.3%)	56	(18.6%)	18	(15.13%)	131
保育英語	24	(7.27%)	21	(36.84%)	39	(12.96%)	10	(8.4%)	94
植物栽培技能	31	(9.39%)	6	(10.53%)	21	(6.98%)	5	(4.2%)	63
小動物飼育技能	20	(6.06%)	19	(33.33%)	16	(5.32%)	6	(5.04%)	61
回答者数	330		57		301		119		807